

稲荷だより 3月号

平成20年3月3日

京都市立稲荷小学校 校長 吉田茂雄

.641-0057 Fax.641-7660 <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/inari-s/>

今年は例年になく寒い冬でした。しかし、職員室前の「コウバイ」はいつの間にか新芽をふくらませ、「春」の到来を知らせてくれています。

心躍る March^{やよい}（生命がいよいよ動き出す）3月に入りました。6年生にとっては残り少ない小学校生活となりました。卒業社会見学、6年生を送る会、卒業お別れ会、部活お別れ試合...等々。楽しい思い出をいっぱい作って稲荷小学校を巣立って行きます。

3月5日(水)は最終参観・懇談会

今年度最後の授業参観と懇談会が、今週の水曜日(3月5日)におこなわれます。この1年間の子供たちの成長と今後の課題を、担任と保護者の皆様とで話し合いたいと思っています。万障お繰り合わせの上、ぜひともご参加ください。

参観授業...5校時(1:45~2:30)
学級懇談会...授業終了後、各教室にて



保小中連携の中で...

2月19日(火)、平成20年度の新しい1年生23名が、稲荷小学校にやって来ました。新1年生の「体験半日入学」と「保護者説明会・就学前家庭教育学級」があったのです。新1年生は、少し緊張気味。1年い組の教室で、本読みをしたり、お絵かきをしたりしながら、小学校生活の一端を体験しました。

今、保育園・幼稚園との連携、中学校との連携が大切になってきています。子どもたちが、どのように育って稲荷小学校に入学してきたのか、また、中学校へ進学するのか。保・幼・小・中がお互いの情報を交換しながら、大切な一人ひとりの子どもを育てていこうとしています。

卒業式 3月21日(金)10:00開式

「見守り隊」の活動、ありがとうございました!

いろいろと物騒な最近の世の中、稲荷小学校では、地域・PTAの方々を中心となり「子ども安全見守り隊」を結成し、毎日のようにパトロールをしてくださいました。

おかげさまで、この1年、子ども達は安心して登校・下校することができました。ありがとうございました。これからもよろしく願います。

<ご協力いただいた団体>順不同で右上に紹介

稲荷民生児童委員会・稲荷保育園・稲荷消防分団・稲荷少年補導委員会・稲荷体育振興会・稲荷防犯推進協議会・稲荷自主防災会・稲荷地域女性会・稲荷交通安全推進委員会・稲荷市政協力委員会・稲荷保健協議会・稲寿会連合会・稲荷友愛献血会・共同募金稲荷分会・日赤奉仕団稲荷分団・稲荷PTA

子どもの目、子どもの心~心豊かな子ども

私は、ヘレンケラーという本を見つけて、どんな本か、読んでみたくまりました。お母さんに聞いてみると、「目も見えなくて、耳も聞こえなくて、口も利けない人のお話。」と言ったので、この本を読んでみようと思いました。

体も丈夫だったヘレンは、急に目も見えない、耳も聞こえない、口も利けないようになりしました。私は、どうして急にそんなことになったのか、不思議だと思えます。この場面を読んでいたときは、こんなことになったヘレンは、どうやって生活していくのかなあ、と思いました。ヘレンの世話を頼まれたアニー・サリバンという先生は、子どものときから目が悪くて、家族もみんな死んでしまい一人ぼっちでした。あるとき、親切な新聞記者に、友達の目医者を紹介してもらい、そのおかげで目がよくなりました。私は、アニー・サリバン先生は、そのときすごくうれしかったと思えます。目医者を紹介してくれた友達も、治してくれたお医者さんも、とても優しい人なんだと思えました。

アニー・サリバン先生がヘレンの世話をする日が始まりました。目も見えない、耳も聞こえない、口も利けないヘレンに、サリバン先生は、手にいるんなものを書いて覚えさせました。私は、どうやって物を教えるのかなあと思っていただけ、手に指で書いて覚えさせる方法を思いついたのは、すごいと思えました。ヘレンは、サリバン先生に400以上の言葉を教えてもらい、いどこに手紙を書きました。私は、ヘレンが手紙を書くことや、言葉を覚えられたのはサリバン先生のおかげで、先生はとても苦労したと思えます。ヘレンは手紙が書けて、とてもうれしかったと思えます。

ヘレンは、新しい先生フラー先生に、しゃべれるようになるために教えてもらいました。フラー先生は、ヘレンの手を自分の口に当て、舌やくちびるの動きをヘレンの手にわからせました。そのうちヘレンはかんたんな言葉をしゃべれるようになりました。ヘレンは、かんたんな言葉でもしゃべれるようになり、とてもうれしかったと思えます。

私は、ヘレンがしゃべれるようになったのが、一番印象に残りました。ヘレンは大人になると、目の見えない人を助ける仕事をしました。私は、困った人がいたら、ヘレンみたいにその人を助けられる大人になりたいです。

さすが4年生の作文です。「ヘレン・ケラー」の伝記を、私たちもまた読みたくりますね。読書は心を豊かにしてくれます。稲荷小学校では、朝読書の時間も定着し、保護者の皆様方に手伝っていただいた「読書コーナー」の利用も多く、おかげさまで読書に親しむ、心豊かな子どもたちが増えてきました。

